

## 無人探査機「ハイパードルフィン」を使った深海実験企画

○ 三輪 哲也、光山 菜奈子、馬場 千尋、柴田 桂、鈴木 晋一、他谷 康（海洋研究開発機構）

深海探査機には、ペイロードが存在し、そこに様々な実験機材を搭載することが出来ることは広く知られている。普及広報活動において、これまで深海の探査機の技術やその性能、可能性についてのハード的なスペックは、十分に広報し、その利用普及に努めてきた。しかしながらこれらの機材は大学などの基礎研究分野や、政府要請の事業に限られているが、その利便性は一般の大衆や、大学以下に所属する学生にとっても興味のあるところであった。

今回、海洋研究開発機構では、ハイパードルフィンのペイロードを使つての実験企画を募集することを試みた。広く大衆から深海の環境で実施してみたい実験アイデアを募集し、選定された個人またはグループにハイパードルフィンのペイロードスペースの一部を開放し、実際に深海の環境で実験を行った。行った実験の様子を、インターネット上の各種メディアに掲載することで、海洋（地球）の不思議やすばらしさを伝え、併せて当機構の研究活動・深海探査技術への理解と興味を促すことを目指した。

海洋調査船「なつしま」および無人探査機「ハイパードルフィン」を用い、実施時期 2010年8月13日～17日または2010年8月18日～25日のうちの数ダイブにおいて、ペイロードの一部を公募し、潜航海域を相模湾と駿河湾に想定し、実施した。テーマは「深海の実験で君の夢を実現してみよう」であり、企画公募期間 2010年6月11日（金）～2010年7月5日（月）において、対象者を、インターネットでブログなどの情報発信を行っている個人、団体、学校グループ、大学研究室、メディアとした。実施スペースは最大 30cm 立方とし、提案条件に応じ、柔軟に対応した。実施提案は、インターネットで公開され、その普及効果をねらった。一方、大学生など若手の参加を期待し、将来の海洋科学に従事する学生の育成を期待した。

応募採択者は、放送局2局を含め全部で5つの課題を実施した。海洋科学とは関係のなかった大学生が、深海は食物貯蔵庫になるか！？スーパくまむし計画などのユニークな提案を応募し、それらの実現のサポートを行なった。また NHK の「試してガッテン」や TBS の「飛び出せ科学くん」における内部企画実験とコラボレーションをした展開も実施できた。さらには、駿河湾で偶然に沈没船を見つけるハプニングもあり、一般や若い学生が考える様々なアイデアに対し、当機構の設備が活用され、その優秀さをインターネットなどのメディアを介し PR できたのではないかとと思われる。

今後もこのような企画を普及広報に活用し、科学技術コミュニケーションの手段として広めていきたい。

